

これが神楽の現在！わかりやすく面白い神楽体験ができる！

## 講座「里神楽ワークショップin成城大学」 ～生きている神楽～

### 3月21日に開催

日程:2018年3月21日(水・祝)13:00-15:30 会場:成城大学

成城大学(東京都世田谷区 学長:戸部 順一)は、「江戸里神楽公演学生実行委員会」が主催する神楽体験講座「里神楽ワークショップ in 成城大学～生きている神楽～」を、2018年3月21日(水・祝)に成城大学にて開催いたします。

「江戸里神楽公演学生実行委員会」とは、「楽しくて、わかりやすい神楽」をテーマに神楽の公演活動をしている学外のボランティア組織で、学生を中心に様々な世代によるスタッフで運営されています。

本年度の実行委員長を、当大学文芸学部の学生が務めることから、日本民俗学の祖である柳田國男と縁の深い成城大学民俗学研究所も協力し、体験講座を当大学で開催する運びとなりました。

ワークショップでは、「生きている神楽」をテーマに、現代まで様々な変化し続けている神楽の歴史を振り返り、現役の神楽師による実演や皆さまへ神楽を体験していただくなど、神楽を楽しめる時間をご用意しております。

### 開催概要

- 【日時】:2018年3月21日(水・祝)  
13:00～15:30 (※12:30 から受付開始)
- 【場所】:成城大学 3号館 311教室
- 【内容】:神楽講座・ワークショップ
- 【お申込み】:下記連絡先に、2018年3月10日(土)までに  
お申し込みください。  
TEL: 090-9953-0299  
e-mail: edosatokagura09@gmail.com
- 【参加費】:一般 1,000円、学生 500円
- 【定員】:40名
- 【問い合わせ先】:江戸里神楽公演学生実行委員会  
yfe78576@nifty.com



## 【神楽講座&ワークショップ プログラム】

- 第1部： 講義「神楽の歴史と変化」13:00～13:30  
講師：俵木悟先生（成城大学文芸学部文化史学科 准教授）  
～休憩10分～
- 第2部： 実演&ワーク「神楽の現在と未来」13:40～14:40  
演者：垣澤瑞貴さん（相模里神楽 垣澤社中）  
～休憩10分～
- 第3部： 出演者対談 14:50～15:30  
俵木悟先生 垣澤瑞貴さん  
田村明子さん（成城大学民俗学研究所 研究員）

### 《開催趣旨》

神楽が誕生したのは、神話の時代。天照大神（アマテラスオオミカミ）の関心を引くために、天岩戸の前で天宇津女命（アメノウツメノミコト）が舞ったものが日本で最初の神楽と言われています。その古の時代から現代に至るまで、神楽は時代の状況や人々のニーズに応じてさまざまに変化しながら受け継がれてきました。

神楽というと、伝統的なもの、古典的なものというイメージがあるかもしれませんが。しかし実際は、常に変化し続けており、その中身は不変ではありません。

今回のワークショップでは、神楽の歴史を振り返りその実態を知ると同時に、現役の神楽師の取り組みを通して、今まさに「生きている神楽」を皆様にお届けすることを目的に開催します。

### 《里神楽とは》

神社の祭礼を中心に行われている芸能です。

演者は、面・装束を付け、身振り手振りによる表現で演じる、無言劇（パントマイム）であることが特徴の一つとして挙げられます。そこに情景や登場人物の心情を表わすのが神楽囃子。聴覚芸能としてもお楽しみいただけます。

里神楽の演目には、「古事記」「日本書紀」といった日本の古典神話を題材とした神代神楽（じんだいかぐら）、「お伽草子」を題材としたお伽神楽、「紅葉狩」や「土蜘蛛」と言った、能や歌舞伎で評判となった演目を神楽化した現代神楽があります。

神楽は堅苦しい、と思われがちですが、「よく知らない」を「なるほど！」に変えることの出来る、親しみやすい芸能です。

（江戸里神楽公演学生実行委員会HPより抜粋）